

用トイレの整備は、川内駅に整備しているので、他の施設においても、既存のトイレを改善できるように検討したい。

第一次薩摩川内市農業振興基本計画策定の取組について



古里 貞義

質問 合併四年目を迎えた本市は、国・県の指針等を踏まえ、農業振興基本計画を策定予定である。同計画で本市の新しい農業振興が始まることに大変期待している。この計画が国・県の補助事業の受け皿だけでなく、本当の意味の本市の計画とするためには、どのような手法で目標設定をし、五年後の結果を出すつもりなのか。

答弁 この計画は、合併前旧自治体の特性を生かした、将来の本市農業振興の方向性を明確にし、計画的かつ効果的なものとし、五カ年計画としたい。また、国や県のあるいは市の総合計画等を十分参考にし、整合性の取れるものではないといけない。そのためには、関係団体等と十分協議、連携をし

ながら実行性のあるものとしていたが、一年ごとに進行管理を実施しながら、この計画の目標達成に向けて努力していく。

緑の基本計画の策定について



堀之内 盛良

質問 本市は、第一次総合計画の上期基本計画において、公園緑地の整備については、緑の基本計画等に基づき、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、身近な公園や緑地整備に取り組みること等としている。本市の緑の基本計画策定と、その取組現状は。また、今後の公園緑地の維持・管理の在り方について伺う。

答弁 本市の緑の基本計画については、総合運動公園をはじめ、現在整備をしている各公園の進捗状況や財政状況を勘案しながら策定をして参りたい。また、この計画を策定するときに併せて、過疎・少子化のためにあまり使われていない、荒廃化した公園も含めて、公園の整備計画、維持・管理についても検討して参りたい。

電源立地地域薩摩川内市地区近未来バイオクリン総合研究センターの誘致運動について



宮里 兼実

質問 現在の本市の基本的な課題は、自治体自身が独自の戦略を持ち、産業振興等に真剣に着手し、取り組むことである。合併後約八百億円の借金、人口も年に約千人ずつ減少している。今後、道州制を踏まえ、北鹿児島を中心的作用を担う為にも、同総合研究センターを誘致すべきだが、今後の取組に対する考えを再度伺う。

答弁 同総合研究センターの誘致については、本市の将来発展のための一つのビジョン、構想として熱い思いを持っておられ、その中からの一つの提案だということであり、その趣旨は十分理解をしたところである。一部の市民の方々がそういう取組をされているということがあるので、今後ある程度具体的に、会社、企業、研究所名等が出てきた場合には、研究・調査をした上で取り組みたい。

甌島からの贈り物 お魚について キビナゴのブランド化



森永 靖子

質問 合併して薩摩川内市を象徴する魚はキビナゴであると言われる三年が経過した。その間、キビナゴは天皇賞を受賞し、また、店頭では甌島のキビナゴが阿久根産という表示になっており、とても残念である。早く、こしきブランドとして、認証して欲しいと考えるが、取組状況等はどうか。

答弁 産地表示の件については、できるだけ早い機会に市内に市場を整備したいと考えており、現在市場の建設構想を委託している。また、ブランド化については、大変厳しい審査を受けなければならぬので、本市の若手職員で構成する職員まちづくり研究会において、ブランド化に向けての諸手続き等を含め、現在一生懸命研究・勉強しており、研究がまとまった時点で、薩摩川内市ブランド委員会を設立するなど、鋭意取り組んで参りたい。